

スポーツ事業経営体による廃校活用プロセス及び効果抽出に関する研究：

関東における複数のスポーツ事業経営体に着目して

スポーツビジネス研究領域

5018A025-1 粕谷 純平

研究指導教員：原田 宗彦 教授

1. 緒言

近年、我が国では少子化に伴う児童生徒数の減少や、市町村合併などによる学校統廃合の影響を受け、廃校数が増加している(波出石ら, 2014)。廃校活用状況実態調査(文部科学省, 2019)によると、廃校数は7,583校にのぼり、うち、活用用途が決まっていない廃校が1,295校存在する。また、活用用途が決まっていない理由については、約半数が「地域等からの要望がない」と回答しているが、現在活用されている廃校活用事例のプロセスを明らかにする資料は少なく、地域等からの要望の重要性に関しては、あまり検討されていない。

一方で、スポーツ基本計画では、既存施設の有効活用を含め、安全で多様なスポーツ環境の持続的な確保(文部科学省, 2017)を掲げており、公有施設のコンバージョンによって、不足するスポーツ施設の過密状態の緩和が促進される可能性は高い(原田, 2018)との指摘もある。これらから、廃校をスポーツ施設として活用することに対する期待感や需要の高まりが窺える。

従って、現在スポーツ施設として活用されている廃校活用事例のプロセスや効果を明らかにすることは、今後の廃校活用を促進する上で、重要だと考えられる。そこで本研究では、以下3つの研究目的を設定した。

目的 1：スポーツ事業経営体による廃校活用のプロセスを明らかにすること。

目的 2：スポーツ事業経営体による廃校活用の効果を明らかにすること。

目的 3：スポーツ事業経営体による廃校活用における課題を明らかにすること。

2. 先行研究の検討

廃校活用のプロセスや効果に関する研究は、事例研究を中心に、いくつかの先行研究が散見される。

北海道の小規模自治体における廃校利用実態に関する研究(久保ら, 2009)では、廃校活用までのプロセスを示した上で、自治体運営型の廃校施設の場合、7割が自治体による発案で活用されており、住民発意の活用は3割と言う結果が明らかになっている。

廃校を活用したソーシャルビジネスに関する研究(波出石ら, 2014)では、廃校活用のメリットとして、「初期投資の低減」と「事業ツールの確保」の2点、地域に及ぼす効果として、「地域コミュニティの再生」、「地域雇用の創出」、「地域経済の活性化」、「遊休施設(廃校)の活用」の4点を挙げている。しかし、スポーツ事業経営体による廃校活用事例に関する研究は散見されなかった。

また、清水(1994)による、スポーツ事業の定義や、スポーツ事業体が今後、自立的な運営を可能とする、

「事業経営体」への移行が求められている(原田, 2018)と言った指摘を考慮し、本研究では、以下の3点全てを満たす事業体を、「スポーツ事業経営体」として定義した。

①インナー政策もしくはアウター政策を担うスポーツ事業体

②スポーツ参加者の増加に資するスポーツ事業体

③法人格を有するスポーツ事業体、もしくは、組織の収入のうち、自己財源が全体の収入の半数を上回るスポーツ事業体

3. 研究方法

インタビュー対象を選定するにあたり、本研究の調査対象である、関東の計323教育委員会に廃校数と活用実態を把握したところ、308団体から回答を得ることができ、スポーツ施設として活用されている廃校の件数は、315校であった。

本研究では、315校の所有/運営を、斎尾(2008)の研究同様に、「公共/公共」「公共/民間」「民間/民間」の3種類に分類し、さらに「a：開放型」「b：専有型」「c：宿泊型」のスポーツ施設に類型化した。

データの収集は、各類型ごとに、下記の1事例ずつを選定し、スノーボールサンプリングにて、各自治体及びスポーツ事業経営体の代表者、それぞれに対して半構造化面接法を用いた調査を実施した。

事例① <公/公 a> 「西原総合教育施設」

(西東京市)

事例② <公/公 b> 「佐野国際クリケット場」

(佐野市)

事例③ <公/民 a> 「スポーツ&カルチャー

しおかぜみなど」(ひたちなか市)

事例④ <公/民 c> 「泊まれる学校さる小」

(みなかみ町)

事例⑤ <民/民 c> 「銚子スポーツタウン」

(銚子市)

また、収集したデータは、SCATを用いて分析し、廃校活用に至るまでのプロセス及び廃校活用の効果と課題に関するコードを抽出した。

4. 結果と考察

4-1：廃校活用のプロセス

事例①, ③では、自治体が主導で廃校活用を提案し、事例②, ④, ⑤では、活用団体が主導で活用を提案した。従って、民間運営型の廃校施設においても、久保ら(2009)の研究と同様に、「地域等からの要望がない」(文部科学省, 2019)場合でも、自治体からの発案で廃校活用に繋がる可能性が示唆された。

また、本研究から、施設未活用期間の長期化は、活用後、管理面でのハードルが高くなる事が明らかにな

った。このことから、施設の未活用期間が長い程、建物の老朽化が進み、存続予定の校舎が解体される事例が多いこと(齋藤, 2008)や、廃校決定後、早期段階での行政による方向性の提示が、地域住民との共通理解を生み、支援体制に繋がったとの指摘(久保ら, 2009)と同様に、未活用期間の長期化がもたらす、新たなリスクが明らかになった。

4-2：スポーツ事業経営体による廃校活用によって抽出された効果と課題

本研究において抽出された、スポーツ事業経営体と自治体の効果及び今まで検討される機会が少なかった廃校活用の課題は、以下の表に示した。

スポーツ事業経営体が得られる効果として新たに抽出された【運営コストの低減】は、自治体側が【遊休施設の活用】を目的に、無償貸与契約を締結することや、活用用途により、補助金や助成金が活用できる可能性がある点が影響していると解釈できる。一方で、本研究では抽出されなかつた「地域雇用の創出」効果(波出石ら, 2014)は、澤井ら(2007)の研究からも示唆されるように、スポーツ事業経営体の経営規模が小さい事が理由として考えられる。

表1：SCATで抽出されたスポーツ事業経営体が得られる廃校活用の効果

【カテゴリー】	<コード>
事業ツールの確保	時間的制約がなく活用可能
	利用料金を軽減可能
	補助金を活用したグランド整備スピードの向上
	日本クリケットのショーケースの場の確保
	施設の活用範囲が拡大
	広大な土地を活用可能
運営コストの低減	利用料金を低価格に設定可能
	地方創生交付金の活用による運営コストの低減
初期コストの低減	初期投資の低減
	「地方創生拠点整備交付金」を活用し、体育馆を改修

表2：SCATで抽出された自治体が得られる廃校活用の効果

【カテゴリー】	<コード>
遊休施設の活用	空き施設の減少
	維持コストの削減
	人的コストの削減
	財政的な負担の軽減
地域経済の活性化	交流人口の増加
	域内消費額の増加
スポーツ環境の整備	スポーツ環境の整備
助成金の活用が可能	補助金活用上の用途決定
	地方創生プロジェクトのフラグシップ事業として選出される
メディアへの露出	メディア露出効果

表3：SCATで抽出されたスポーツ事業経営体による廃校活用における課題

【カテゴリー】	<コード>
地域住民等からの不満	施設の空きが目立つと利用方法への苦情につながる
	利用方法に対する不満
	活用方針について、議員や自治体の意向の影響を強く受ける
	町の公共施設としての活用機会が減少
事業内容とツールの相違	駐車場のキャパシティ不足
	間取りが広い
	浴室の整備が必要
法的規制	法的な理由により、施設の建設や設置に制限がある
	法的理由で活用方法に制限がある
	法的条件への順応が必要
活用時のコスト負担	維持管理コストの高騰
	改修コストがかかる(短期的目標)
	改修コストの負担が大きい
施設の老朽化	施設が古いで、既存施設の活用が困難
	施設修繕の負担が課題
	未活用期間長期化のリスク
	未活用期間の長期化により、活用時の負担が増大する

本研究の課題にて抽出された【事業内容とツールの相違】は、廃校の有するツールや活用用途に応じ、求められるツールが異なるため、スポーツ事業経営体をはじめ、様々な活用主体が考慮すべき課題といえる。また、【法的規制】についても、施設により異なるため、活用主体側の検討に加え、行政側が規制緩和について検討する必要がある(河野ら, 2006)。

5. 結論

スポーツ事業経営体が得られる効果と自治体が得られる効果は、相互に作用し合っている事が分かり、両者に効果が享受されることから、スポーツ事業経営体による廃校活用は、スポーツ事業経営体と自治体、両者にとって有益な事業であると言えるだろう。一方で、本研究を通して、スポーツ事業経営体による廃校活用には、いくつかの課題も含んでいる事が明らかになった。従って、今後の廃校活用を考える上で、それらの知見を考慮し、最適な方法で廃校を活用する必要性がある。

しかし、廃校施設の有効活用は、状況によって左右されるという指摘(権, 2012)からも推察できるように、最適な活用方法を考える上で、今後は、廃校施設のある地域や社会のニーズの変化に応じた、活用方法の検討が必要だろう。従って、本研究では、自治体や活用主体のスポーツ事業経営体の効果と課題を抽出し、知見を提供することとしたが、今後は地域内外から訪れる、廃校利活用施設の利用者、つまりエンデューザーを対象とした、廃校活用事例のニーズや、評価などに関する研究の必要もあるだろう。